

北海道浮魚ニュース

令和3(2021)年度 19号

2021年11月9日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎サンマ南下期調査結果「サンマ採集されず」

サンマ南下期調査を行いましたので、調査結果をお知らせします。

調査期間：2021年10月19日～10月30日

調査海域と調査地点（図1，表1，図2）：道東～三陸沖太平洋海域の9調査点

調査方法：表層トロール網による採集試験（1曳網あたり1時間）

CTDによる海洋観測

NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース※1（10月下旬の表面水温・50m水温）の解析

※ http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rrtdb/data_usage_J.html

調査船：北辰丸（釧路水産試験場）

1. 水温分布（図1）

調査海域（北緯39～43度，東経142～148度）の表面水温は10～18℃，50m水温は7～19℃にありました。13℃を下回る親潮系水は表面水温で見ると厚岸沖にまで，50m水温ではえりも岬まで達していました。北緯40～41度，東経146～147度付近には暖水塊が観察されています。

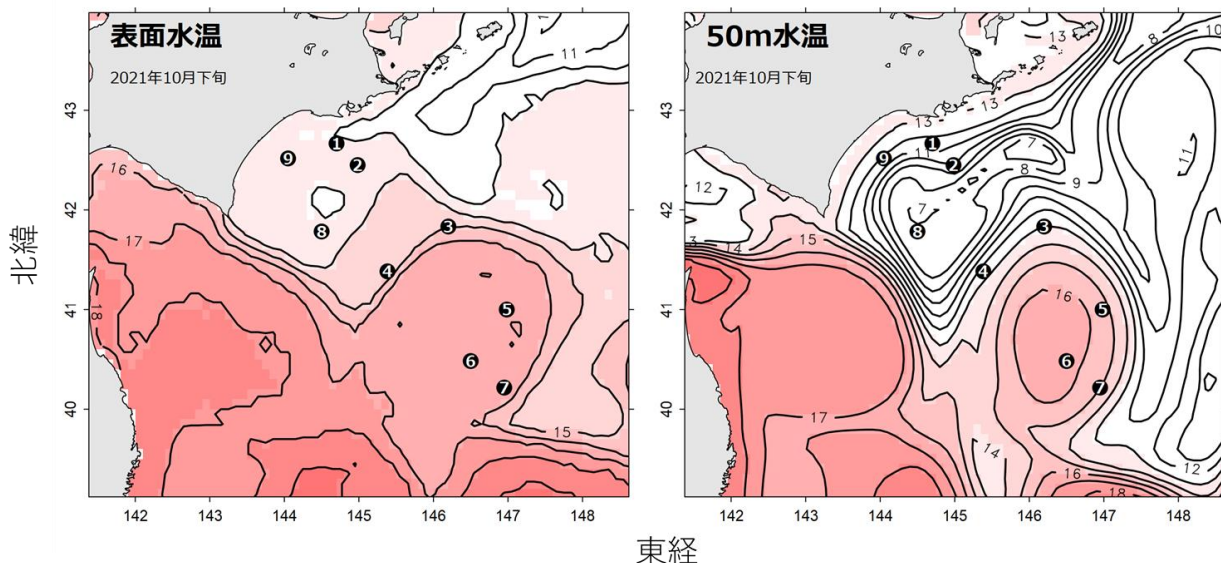


図1 2021年10月下旬の表面水温（左図）および50m水温（右図）
グラフ内の●は調査地点，●内の数字は調査地点番号（表1）を示す

2. 表層トロールによる浮魚類の採集尾数（表1，図2，参考図）

今年度の表層トロール網による採集試験（表1）では，サンマは採集されませんでした（前年10個体）。本調査におけるサンマの採集数は，2017年以降，非常に少ない年が続いています（図2）。道東～三陸沖太平洋海域における秋季のサンマ来遊量は今年度も非常に少ない水準にあると推察されます。

今年度の調査で最も多く漁獲された浮魚類はカタクチイワシでした。カタクチイワシは，ほとんどの調査地点で採集され，総採集数は1,328尾と全体の97%を占めました。近年，サンマやマサ

バの採集数が減少している一方で、カタクチイワシの採集数は増加傾向（参考図）にあります。

表1 2021年サンマ南下期調査における海洋観測結果（CTD）および表層トロール網による浮魚類の採集数

調査地点番号	調査年月日	調査地点		水温(°C)			採集数(尾/時間)			
		北緯	東経	0m	50m	100m	サンマ	マイワシ	カタクチイワシ	サバ類
1	2021/10/19	42-40	144-42	12.9	10.3	4.6	0	0	23	0
2	2021/10/22	42-27	144-59	13.0	4.5	2.3	0	0	34	0
3	2021/10/23	41-50	146-12	14.2	7.4	2.6	0	28	933	5
4	2021/10/23	41-23	145-23	16.6	14.7	10.6	0	0	0	0
5	2021/10/24	41-00	146-59	16.8	15.6	11.6	0	0	1	0
6	2021/10/24	40-29	146-30	16.9	15.0	11.0	0	0	8	0
7	2021/10/25	40-13	146-57	14.6	11.2	4.5	0	0	265	0
8	2021/10/28	42-31	144-03	13.9	8.9	5.8	0	0	32	0
9	2021/10/29	41-47	144-30	12.3	8.2	3.7	0	0	32	0

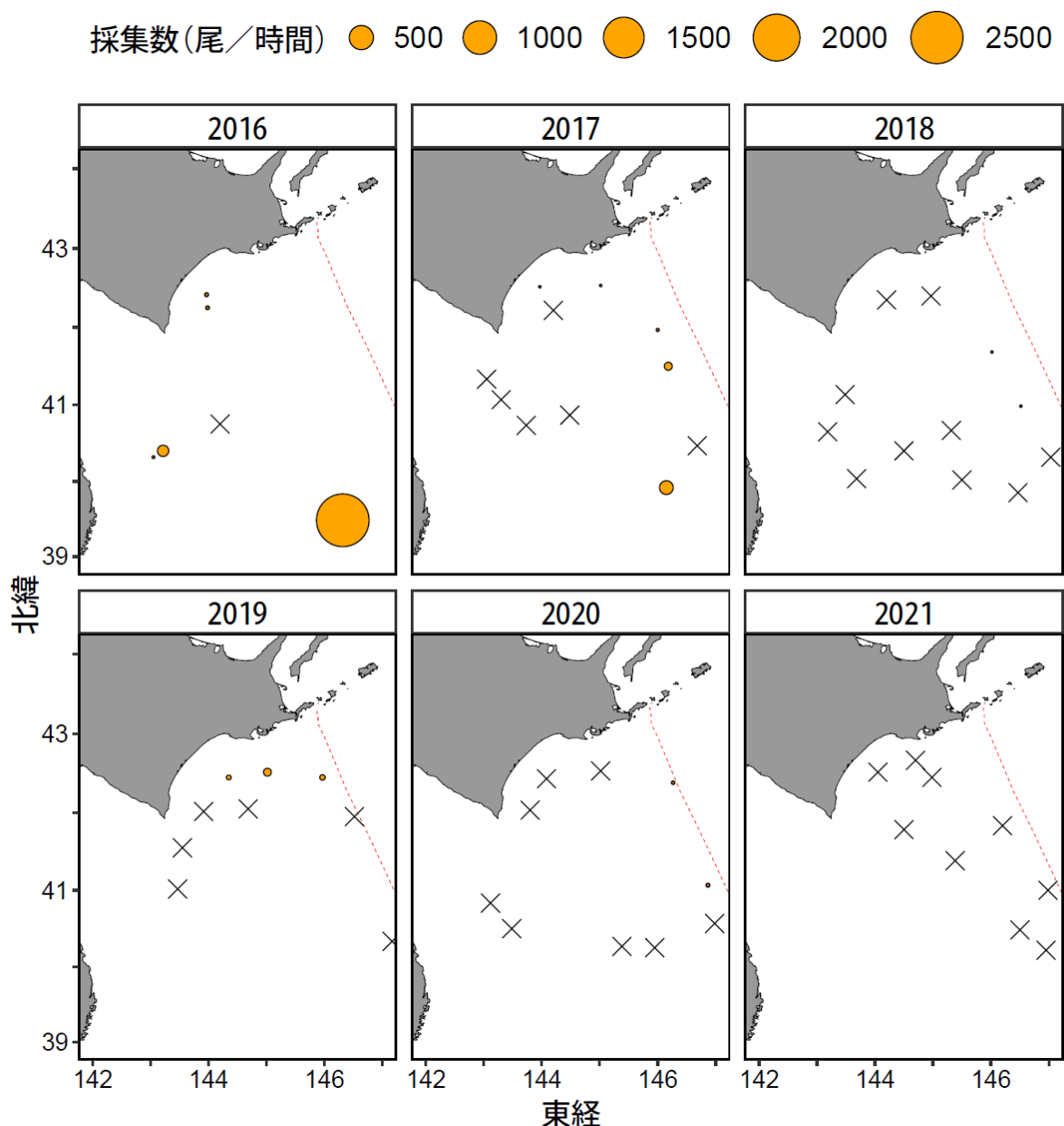
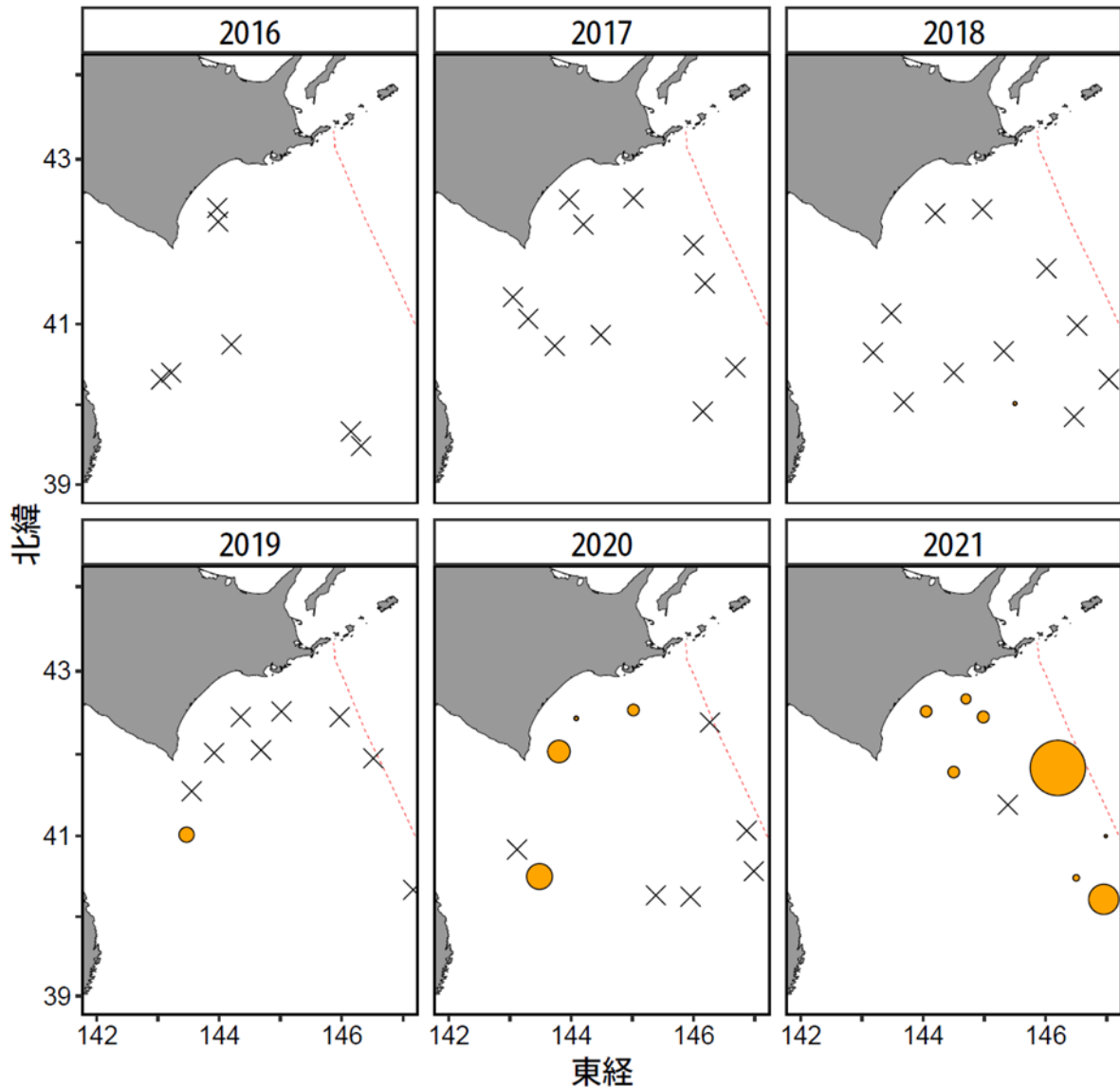


図2 2016～2021年サンマ南下期調査におけるサンマの採集数（尾/時間）
 グラフ内の×は採集なし，破線はロシアが主張する200海里ラインを示す

採集数(尾/時間) ○ 250 ● 500 ● 750



参考図 2016～2021年サンマ南下期調査におけるカタクチイワシの採集数(尾/時間)
 グラフ内の×は採集なし、破線はロシアが主張する200海里ラインを示す

北辰丸 海洋観測速報(試験運用中) <https://hro-fish.net/hokushin/>
 (釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。)

お問い合わせ先: 釧路水産試験場調査研究部, [TEL:0154-23-6222](tel:0154-23-6222) [FAX:0154-23-6225](tel:0154-23-6225)